

佐賀県の地震活動概況 (2023年8月)

令和5年9月6日
佐賀地方気象台

【8月の地震活動概況】

8月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は2回(下図領域外)でした(7月は1回)。

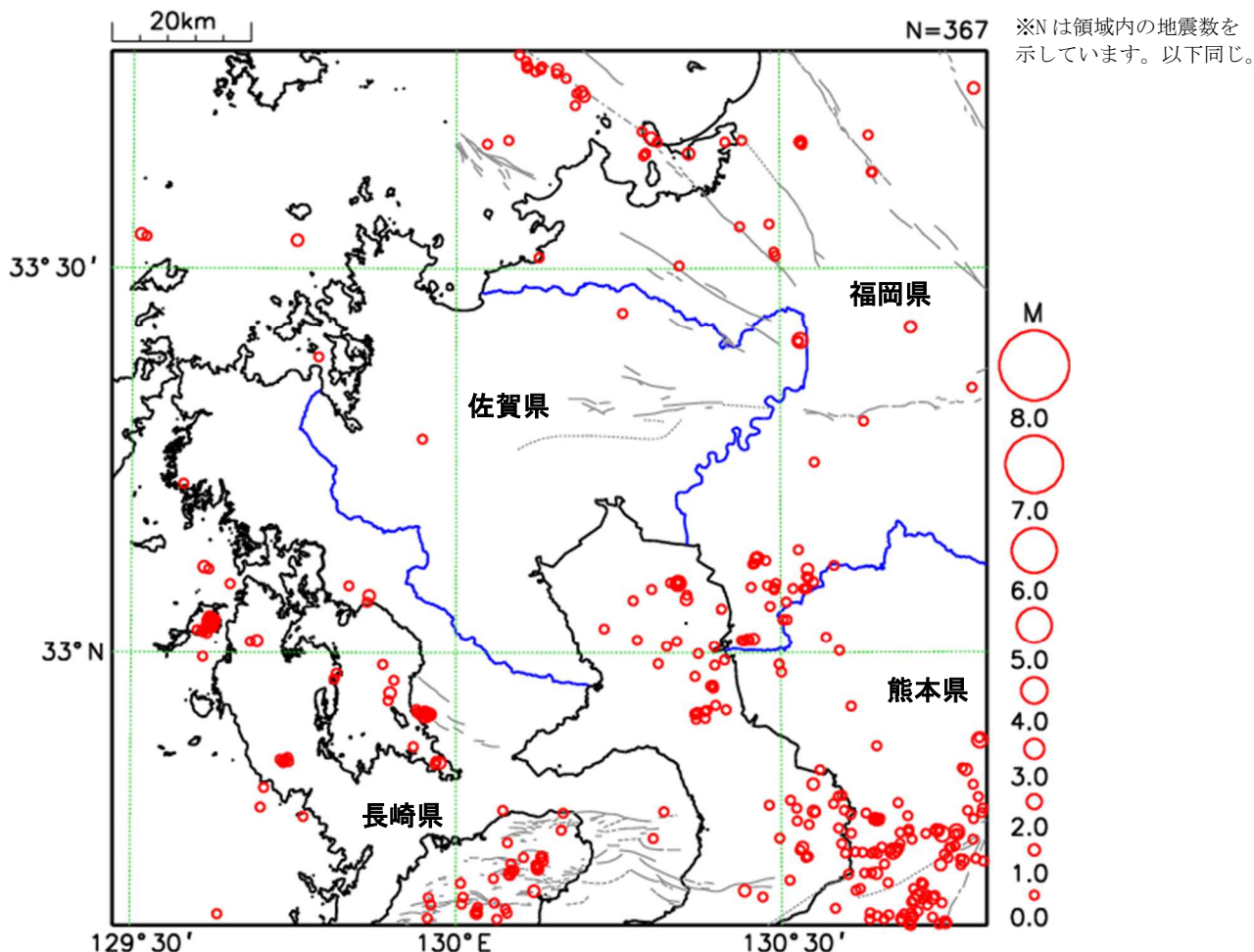


図1 震央分布図 (2023年8月1日~31日、深さ30km以浅、 $M \geq 0.0$)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

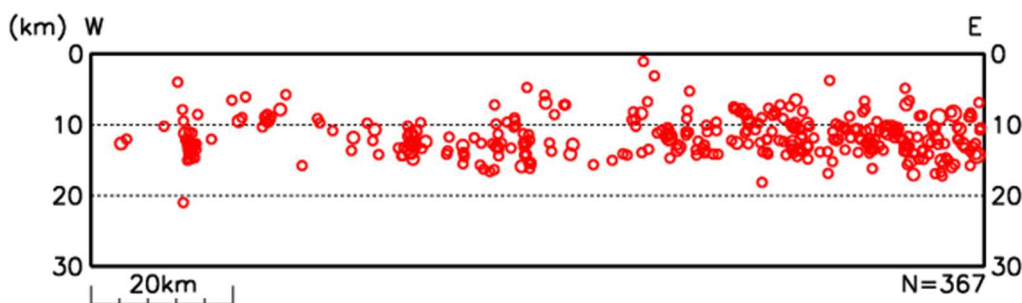


図2 断面図 (2023年8月1日~31日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

大隅半島東方沖 (1 頁震央分布図領域外)

7 日 03 時 12 分に大隅半島東方沖で M5.4 の地震が発生し、鹿児島県の鹿屋市、西之表市、宮崎県串間市などで震度 3 を観測したほか、九州地方で震度 2~1 を観測しました。佐賀県では、神埼市、白石町で震度 1 を観測しました (図 3、表 1)。

今回の地震の震央付近 (図 4 領域 a) で発生した地震により、佐賀県内で震度 1 以上を観測したのは、地方公共団体 (佐賀県) の震度データの活用を開始した 2001 年 3 月 22 日以降初めてです (図 4~図 6)。

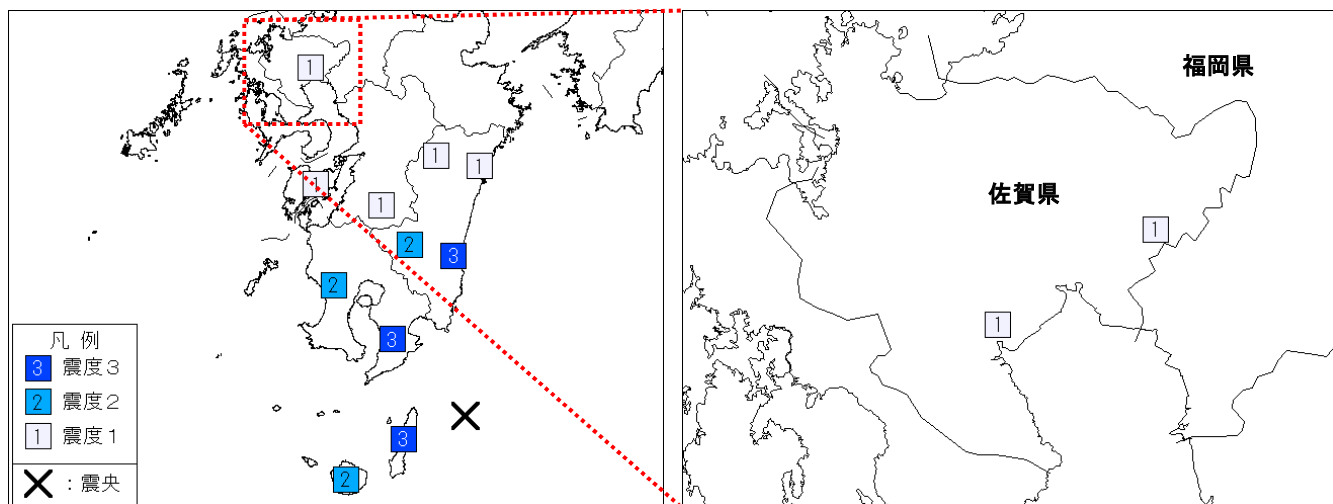


図 3 震度分布図 7 日 03 時 12 分 M5.4
(左図は地域別、右図は観測点別)

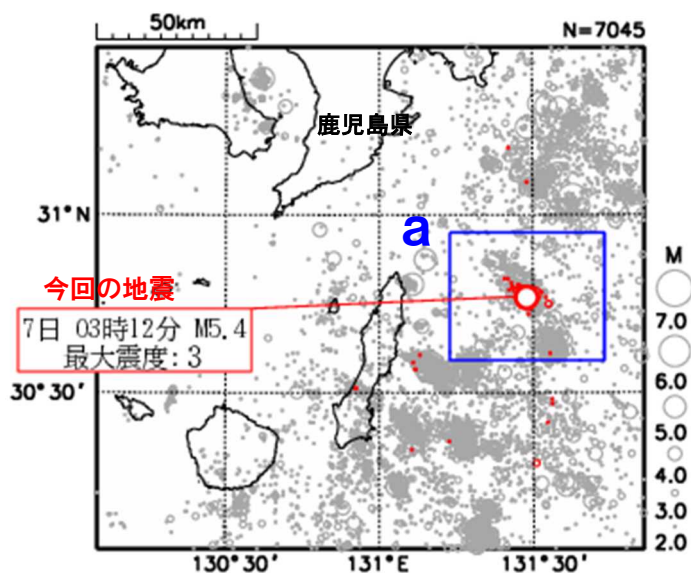


図 4 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日~2023 年 8 月 31 日、
深さ 0~60km M≥2.0)

※2023 年 8 月 1 日以降の地震を赤色で表示

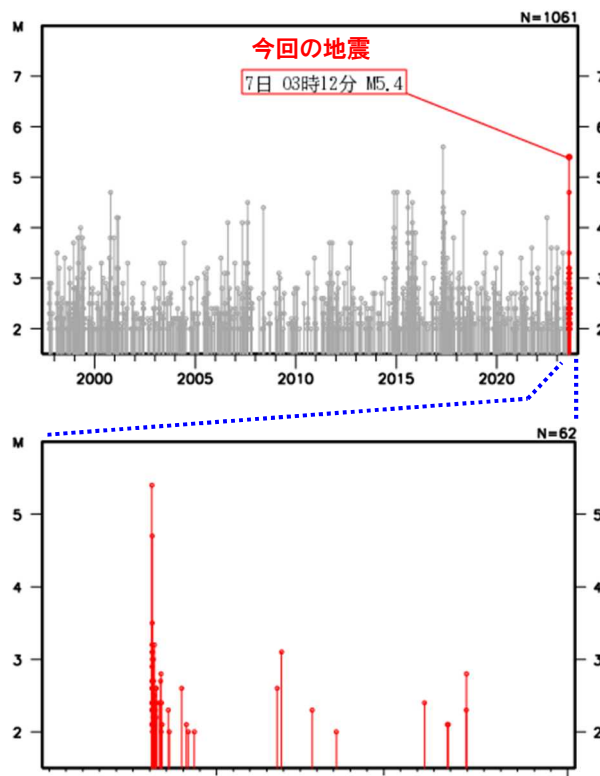


図 5 図 4 領域 a の地震活動経過図

上段 : 1997 年 10 月 1 日~2023 年 8 月 31 日
下段 : 2023 年 8 月 1 日~2023 年 8 月 31 日

周防灘（1 頁震央分布図領域外）

26 日 22 時 29 分に周防灘で M4.6 の地震（深さ 74km）が発生し、山口県の下関市、下松市、広島県大竹市などで震度 3 を観測したほか、九州地方から近畿地方にかけて震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、佐賀市で震度 2 を観測したほか、鳥栖市、小城市、神埼市などで震度 1 を観測しました（図 6、表 1）。

今回の地震の震源付近（図 8 領域 c）では、2014 年 3 月 14 日に M6.2 の地震（深さ 78km、最大震度 5 強）が発生し、佐賀県では、神埼市、みやき町、白石町で震度 4 を観測したほか、県内の広い範囲で震度 3～1 を観測しました（図 7～図 9）。

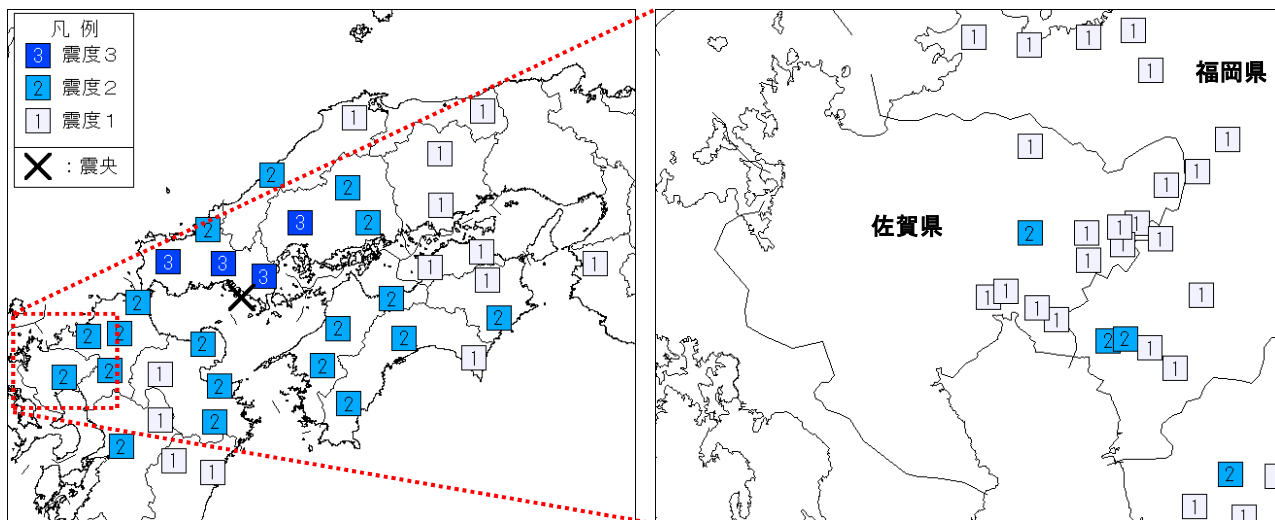


図 6 震度分布図 26 日 22 時 29 分 M4.6
(左図は地域別、右図は観測点別)

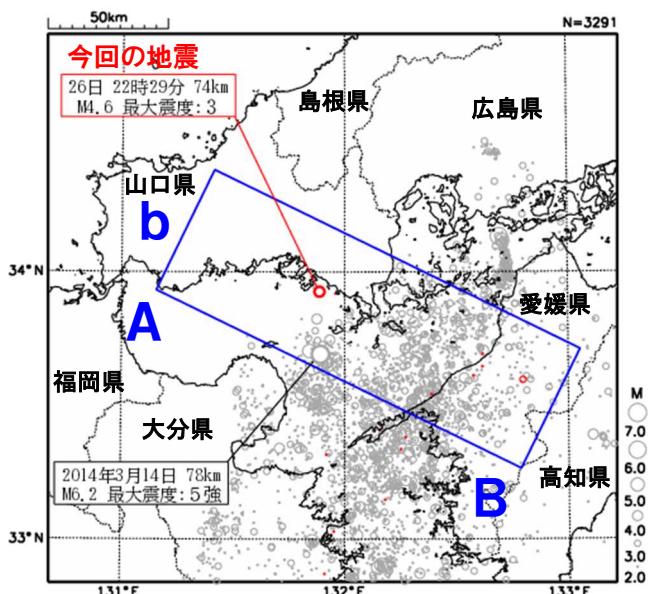


図 7 震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2023 年 8 月 31 日、
深さ 30～120km M≥2.0)
※2023 年 8 月 1 日以降の地震を赤色で表示

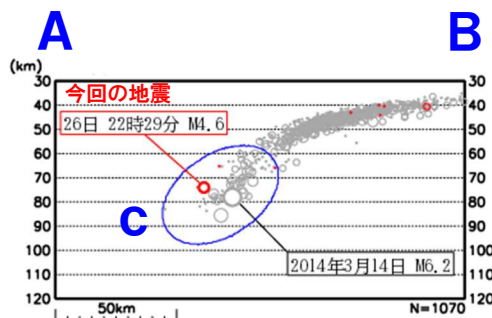


図 8 図 7 領域 b 内の断面図 (A-B 投影)

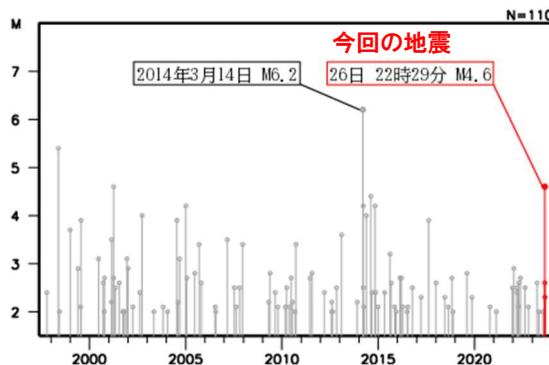


図 9 図 8 領域 c の地震活動経過図

表1 佐賀県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震(2023年8月1日~31日)

地震発生日時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
8月7日03時12分 佐賀県	大隅半島東方沖	30°46.0' N	131°28.7' E	43km	M5.4
	震度 1 : 白石町有明*, 神崎市千代田*				
8月26日22時29分 佐賀県	周防灘	33°55.5' N	131°53.2' E	74km	M4.6
	震度 2 : 佐賀市大和*				
	震度 1 : 佐賀市三瀬*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 佐賀市川副*, 鳥栖市宿町*, 上峰町坊所*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈*, 神崎市千代田*, 神崎市神埼*				

- ・「*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素(緯度・経度・深さ・M)は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

震度について

○震度計と震度

地震が発生した時に各地の揺れの状況を把握することは、地方公共団体や防災機関による初動対応において大変重要です。

地震による各地の揺れの強さは、全国約4,400か所^{※1}に設置された震度計（図1）により観測され、「計測震度」として気象庁に集約されます。気象庁ではこれらの計測震度を「震度階級」（表1）に換算し、震度1以上の揺れを観測した地点があった場合、各地で観測された震度の情報をとりまとめて発表します。

気象庁が発表する震度の情報の利用に当たり、以下のことに留意してください。

- ① 震度計は設置場所での揺れの強さを測定していますが、地中の地盤や地形の差異により地表の揺れの強さは変わります。例えば、同じ町内でも、震度にして1階級程度、揺れの強さが異なる場合があります。
- ② 小規模な地震がごく浅い場所で発生した場合、震源付近の限られた範囲で揺れを感じることがありますが、震源付近にある震度計で震度1以上（計測震度0.5以上）の揺れとして観測されなかった場合、地震情報は発表されません。

○震度と揺れの状況

図2は、観測された震度とその周辺で発生する現象や被害の目安を示したものです（震度6弱～7を抜粋）。

強い揺れに見舞われると、この図のような被害が生じるおそれがあります。

地震はいつ発生するか分かりませんので、普段から地震への備えを心がけておきましょう。

※1 地方公共団体や（国）防災科学技術研究所の観測点も含まれます。

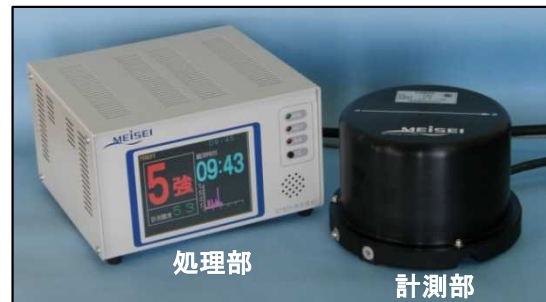


図1 震度計の処理部と計測部の例

表1 気象庁震度階級表

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5未満	5弱	4.5以上5.0未満
1	0.5以上1.5未満	5強	5.0以上5.5未満
2	1.5以上2.5未満	6弱	5.5以上6.0未満
3	2.5以上3.5未満	6強	6.0以上6.5未満
4	3.5以上4.5未満	7	6.5以上

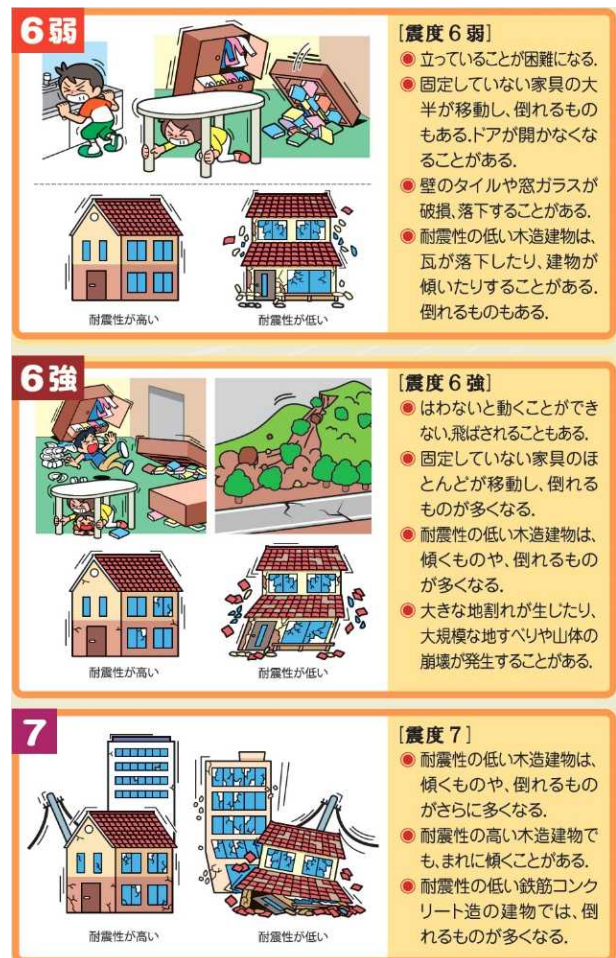


図2 震度と揺れの状況（震度6弱～7を抜粋）

震度と揺れの状況に関する詳しい説明（「気象庁震度階級関連解説表」）は、以下のURLからご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

地震への備えについては、以下のURLからご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html#ex